土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川太田川水系権地川支川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

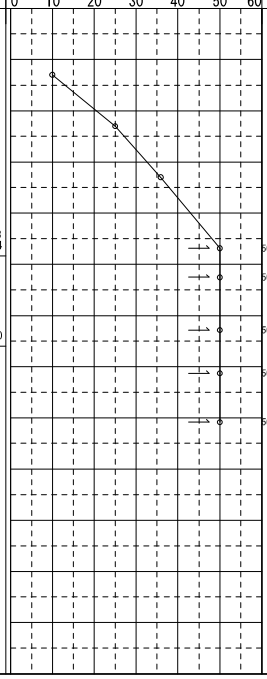
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	B-Box-1(R3)	調査位置	広島県広島市安佐南区長東町	北緯	34° 25' 46.2910"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 2月24日～ 令和4年 3月 1日	東経	132° 26' 29.6989"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 122.80m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	18° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-0C / エンジン：ヤンマー NFD12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混り砂		褐	rd3		未固結の礫混り砂～礫質土。 径5～70mm前後の角礫を混入。 砂分は粒径不均一。 細粒分を不均質に含む。 やや粘性を帯びる。	
2	120.40	2.40								
3				玉石混り砂礫		淡灰	rd4		密な玉石混り砂礫からなる。 コア長5～20cm前後の風化した礫～岩片 硬質な玉石を混入する。 最大コア長40cm程度。 砂分は粗粒砂やや優勢。 細粒分を不均質に含む。	
4										2/28 4.84
5	117.80	5.00								
6				風化花崗岩		淡褐灰			花崗岩(軟岩相当)。 岩組織を明瞭に残すが岩芯まで風化が進行する。 岩片はハンマー打撃で濁音を発して、砕ける程度。 全体に亀裂面は不明瞭。 深度方向へ次第に固結する。	3/ 1 6.60
7										
8	114.80	8.00								
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.15	4	3	3	10/300		
	1.45						
25	2.15	5	5	15	25/300		
	2.45						
36	3.15	5	10	21	36/300		
	3.45						
50以上	4.55	12	18	20	50/280	280	
50以上	4.83	18	28	4/10	50/210	210	
	5.15						
	5.36						
50以上	6.15	13	19	18/70	50/270	270	
	6.42						
50以上	7.05	20	30/60		50/160	160	
	7.21						
50以上	8.00	19	31/70		50/170	170	
	8.17						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/25
				2/28